

■米国：FERC、送電線建設費用配分などを定めたオーダー1000 最終版を公表

連邦エネルギー規制委員会（FERC）は 2011 年 7 月 21 日、送電線建設時の費用配分などを定めた“オーダー1000”の最終版を公表した。オーダー1000 は送電線建設計画におけるルールを定めたオーダー888 および 890 を一部見直すものであり、複数地域を跨ぐ送電線建設の計画策定に全ての送電設備所有者（電力会社など）が参加することや、送電線の通過地域で同一の建設コスト配分方法を採用することを義務付けるものである。また既存の送電設備所有者に与えられた「優先交渉権（Right of first refusal : ROFR）」を撤廃し、既存設備所有者以外による送電線建設を促進するとしている。オーダー1000 のドラフト版は 2010 年 6 月に公表されており、FERC は 200 件以上寄せられたコメントを考慮したとしている。今回の最終ルールは再生可能エネルギー発電向けの送電線建設に有利なルールとされており、再生可能エネルギー発電事業者やマーチャント送電事業者などからは称賛の声があがる一方、送電設備を所有する電力会社や消費者団体などは再生可能エネルギー発電への実質的な補助措置であり建設コスト配分のルール化によって受益者以外の需要家へ送電線建設費用負担を強いることになる、として激しく反発している。オーダー1000 は連邦官報に公表後 60 日以内に発効し、送電事業者は発効後 1 年以内に異議申し立てを行わなければならない。